

# 衆議院安全保障委員会ニュース

平成 22.5.28 第 174 回国会第 6 号

5 月 28 日（金）第 6 回の委員会が開かれました。

## 1 国の安全保障に関する件

- ・ 5 月 28 日に発表された日米安全保障協議委員会の「共同発表」について、岡田外務大臣から報告を聴取しました。
- ・ 岡田外務大臣、北澤防衛大臣及び榛葉防衛副大臣に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

### 中 谷 元君（自民）

- ・ 普天間飛行場移設問題に関し、5 月 28 日発表された日米安全保障協議委員会（いわゆる「2 + 2」）の「共同発表」においては、2006 年 5 月 1 日の同委員会文書「再編の実施のための日米ロードマップ」（以下「ロードマップ」という。）に記された再編案を着実に実施する決意を確認したとあるが、これはロードマップにあったいわゆる V 字案を含むのか、また、8 月末日までに完了するとされている専門家による検討の結果によっては、最終的に V 字案となる可能性はあるのか、岡田外務大臣の見解を伺いたい。
- ・ 今回発表された日米合意をより確実なものとするため、本「共同発表」を受けて策定される政府の対処方針は、閣議決定のような全閣僚の同意とその署名が必要な形式で決定すべきと考えるが、岡田外務大臣の見解を伺いたい。
- ・ 普天間飛行場移設問題に関し、福島消費者・少子化担当相は、5 月 25 日に沖縄を訪問した際には、鳩山総理大臣が示した方針に反する発言を行うなど、内閣の一体性を損ね、我が国の外交・安全保障政策を実施するに当たっての障害となっていると認識している。福島大臣にどのように対処すべきと考えるか、岡田外務大臣及び北澤防衛大臣の見解を伺いたい。

### 新 藤 義 孝君（自民）

- ・ 平野官房長官は、5 月 27 日の記者会見で、「2 + 2」の共同発表よりも、これを受けて策定される「政府の対処方針の方が重い」と述べたと報道されているが、岡田外務大臣は、どちらの方がより重要度が高いと考えているのか。
- ・ 「共同発表」は、「代替の施設の環境影響評価手続及び建設が著しい遅延がなく完了できることを確保するような方法で、代替の施設を設置し、配置し、建設する意図を確認した」としているが、「杭打ち栈橋」方式は、この趣旨に合致するものとなるのか、岡田外務大臣の見解を伺

いたい。

- ・ 竹島問題に関し、韓国が、竹島及びその周辺で行おうとしているヘリポートの改修工事、海洋科学基地建設などについて国民に公表し、5 月 29 日及び 30 日に予定されている日中韓首脳会議の際の日韓首脳会談において韓国側へ強く抗議するとともに、本問題を協議する場を設置することが必要と考えるが、岡田外務大臣に今後の対処方針について伺いたい。

### 岩 屋 毅君（自民）

- ・ 北方領土問題に関し、鳩山総理大臣が「従来の発想にとられないアプローチが必要」としていることは、同意できるものであり、今後の本問題解決促進のためには柔軟なアプローチが必要と考えるが、岡田外務大臣の見解を伺いたい。
- ・ 尖閣諸島に日米安全保障条約は適用されるのか、また、我が国にとって尖閣諸島は領土問題と言えるのか、岡田外務大臣の見解を伺いたい。
- ・ 韓国海軍哨戒艦沈没事案の調査報告を受け、鳩山総理大臣は、我が国は先頭を切って走る旨の発言を行っているが、先走りの感があり、総理大臣の発言としては軽率ではないのか、岡田外務大臣の見解を伺いたい。

### 佐 藤 茂 樹君（公明）

- ・ 普天間飛行場移設問題を巡る閣内不一致の背景に、連立与党内における本質的な安全保障認識の不一致があると考えているが、これを契機に与党内で本格的な安全保障論議を開始すべきではないのか、岡田外務大臣の見解を伺いたい。
- ・ 「共同発表」において、代替施設の環境影響評価手続及び建設について著しい遅延がなく完了できることを確保するような方法で行うことが確認されたが、「著しい遅延」とならない年限の範囲について、岡田外務大臣の見解を伺いたい。
- ・ 「共同発表」では、ロードマップでは合意されなかった米

軍と自衛隊の「施設の共同使用」についても合意されているが、この共同使用される施設には普天間飛行場代替施設も含まれるのか。共同使用により、米軍ばかりではなく、自衛隊が使用することで、騒音や事故の危険性が増し、地元の理解が得にくくなることを懸念するが、共同使用の目的は何か、北澤防衛大臣に伺いたい。

### 小 泉 進次郎君（自民）

- ・普天間飛行場移設問題に対する鳩山総理大臣の発言は、場当たり的に変わっていると認識しているが、岡田外務大臣の認識を伺いたい。
- ・岡田外務大臣は、昨年 10 月の記者会見において、既に普天間飛行場を県外に移設することは難しいとの認識を示していたにもかかわらず、鳩山総理大臣は、5 月までこのような認識を持たず、問題を先送りしてきた。岡田外務大臣は本問題について、総理大臣に進言を行わなかったのか、伺いたい。
- ・普天間飛行場移設問題を 5 月末までに決着できなかったことについての岡田外務大臣の責任の取り方は、日米合

意を政府の対処方針として閣議決定又は閣議了解の形式で決定することであると考えているが、岡田外務大臣の見解を伺いたい。

### 赤 嶺 政 賢君（共産）

- ・普天間飛行場移設問題に関し、政府は地元との理解を得てから、米国との合意を行うと述べてきたが、地元の理解を得られていないにもかかわらず、何故日米間で合意が行われたのか、岡田外務大臣に伺いたい。
- ・嘉手納飛行場の F-15 の訓練を本土に移転しても、鳥島及び久米島の射撃場演習が行われる限り、外来機が飛来し、騒音問題が軽減されないと考えるが、北澤防衛大臣の認識を伺いたい。
- ・「共同発表」にある「キャンプ・シュワブ辺野古崎区及びこれに隣接する水域」とは、具体的にどこを指すのか、また、これまで行われてきた環境影響評価に係る調査結果については、使えるものは使うとの考えを持っているのか、岡田外務大臣の見解を伺いたい。

### 2 防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律の一部を改正する法律案（内閣提出第 27 号）

- ・北澤防衛大臣から提案理由の説明を聴取しました。